

ブロック別対策計画 【第1ブロック：福大明神町、サーパス一条、役人町、小寺町、如水町、飛弾殿町】

一条通

【現状・課題】

- ・道幅が狭く、交通量や路上駐車等が多いため、災害時の避難や救助に支障のおそれがある。
- ・京町家等の古い建物が立ち並ぶ。
- ・葎屋町通との交差点付近の道幅が狭く、十分な隅切りがないため、緊急車両等の円滑な通行が困難。



【対策の方向性】

- ・災害時には堀川通と智恵光院通をつなぐ東西の重要な通りであるため、**沿道建物の耐震化・防火対策**を図る。
- ・道幅が4m未満の箇所は、所有者に働き掛けを行い、**後退部分の拡幅整備**に向けて取組を進める。
- ・通行に支障のある交差点については、**後退部分の拡幅整備**と合わせて、**隅切りの整備等**を進める。

(路地②・小寺町)

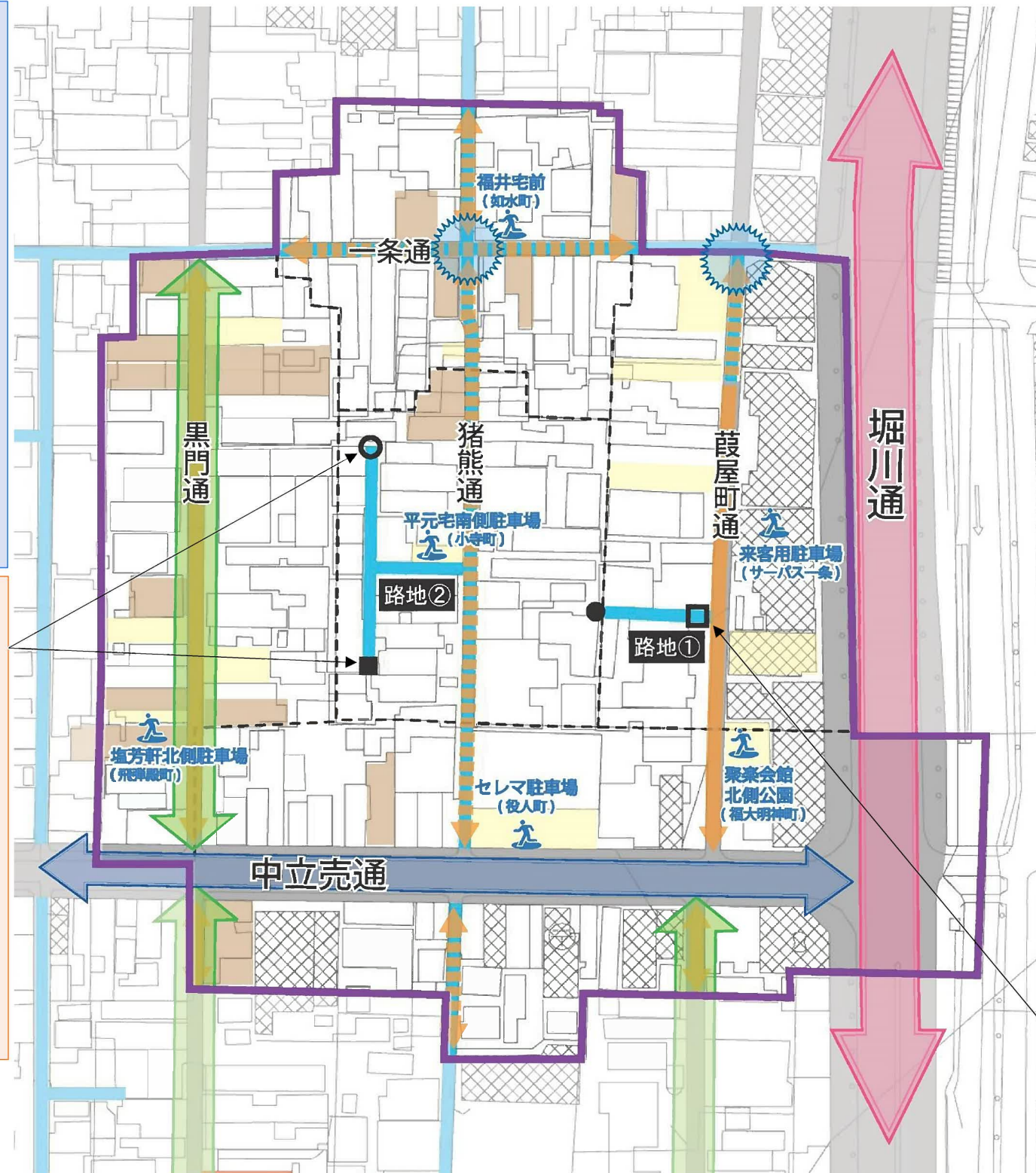
【現状・課題】

- ・幅の狭い袋路。路地奥の避難扉先に通路があるが、2方向避難は困難。
- ・災害時の建物の倒壊等により、避難経路が塞がれるおそれがある。



【対策の方向性】

- ・**2方向避難の確保**や路地始端部建物の耐震化・防火対策、路地の適正管理等により路地全体の安全性の向上を図る。



葎屋町通

【現状・課題】

- ・道幅は概ね4mあり、堀川通に面している東側の建物はRC造が多い。
- 【対策の方向性】
- ・災害時に安全に避難できるよう、**沿道の耐震化・防火対策**を図る。

猪熊通

【現状・課題】

- ・ブロックの中央に位置し、古い木造の建物が多い。
- ・道幅はかなり狭く、緊急車両の通り抜けができない。
- ・一時避難地となる空地がほとんどない。



【対策の方向性】

- ・災害時の火災の燃え広がりを防ぐために、**沿道の耐震化・防火対策**を図る。
- ・所有者に働き掛け、**後退部分の拡幅**や**拡幅整備**に合わせた**隅切りの整備等**を進める。

黒門通

【現状・課題】

- ・道幅4m以上あり、災害時に避難所までの避難経路となる重要な通り。
- ・大型の京町家や新しい建物が点在している。

【対策の方向性】

- ・災害時に安全に避難できるよう、**沿道の耐震化・防火対策**を図る。

(路地①・福大明神町)

【現状・課題】

- ・幅が狭い袋路。路地奥に高さのあるブロック塀があり、災害時に倒壊すると危険。



【対策の方向性】

- ・所有者に働き掛けを行い、**ブロック塀の改善**や路地始端部建物の耐震化・防火対策等により路地全体の安全性の向上を図る。

凡例		幅員 4.0m以上の道		袋路（突き当りが建物）		改良が必要な交差点		市の広域的な幹線道路
		幅員 1.8m以上 4.0m未満の道		袋路（突き当りが塀・柵等）		空き地（駐車場・更地など）		市の広域幹線道路を補完する道
		ブロックの境界		トンネル路地		京町家と思われる建物（『防災ウォーク』で確認）		学区の防災上重要な道
		町界		袋路（突き当りが扉）				町内の主となる道
		地域の集合場所						